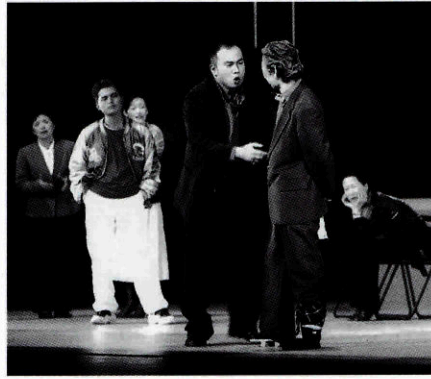


# ルネッサながと開館5周年記念ひなフェスタ2005 6団体が日頃の練習成果を披露

2月8日から13日まで、ルネッサながと開館5周年を記念した「ひなフェスタ2005」が開催され、地域で活躍する6団体が日頃の練習の成果を披露しました。12日、劇場では市民劇団「近松八展劇場」の旗揚げ公演「地下で待つドラえもん」が上演され、団員たちの熱の入った絶妙の演技は観客の笑い感動を誘い、会場から大きな拍手が送られました。また、文化情報ギャラリーで開催された絵画クラブあゆみ展で



は、54点の作品が展示され、訪れる人の目を止めていました。

## 第2回国民文化祭 実行委員会を開催

国民文化祭に向けての実行委員会が2月10日、市役所で開かれ、「みずゞ夢空間・仙崎まちなみフェスタ」「地芝居の祭典」「能楽・狂言フェスティバル」の3つの事業の開催要綱が承認されました。



## 首都圏で新「長門市」 の観光情報を発信

首都圏のマスコミや旅行ジャーナリストを対象に2月5日、観光情報発信会が東京都渋谷区のホテルで開催され、松林市長が金子みずゞ記念館や温泉など新「長門市」の観光PRをしました。



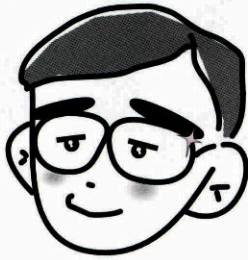
## 老人クラブ連合会 合併調印式

2月17日、地域福祉センターで1市3町の老人クラブ連合会の合併調印式が行われました。新しい名称は「長門市老人クラブ連合会」となり、4月下旬の設立総会で発足する予定です。



## ながと日記 ばーと56

長門市長 松林正俊



### 新市に向けて (その5/さよなら長門市)

いよいよ新「長門市」がスタートします。と同時に、現「長門市」は半世紀を越える歴史の幕を閉じることとなります。私もその一幕5年間、第13代・14代長門市長として市政運営に努めさせて頂きました。この間における市民の皆様のおかげで、ご協力から感謝を申し上げます。

就任直後の平成12年8月より始めた「ながと日記」も早いもので、今回で56回を数えることとなります。1回目でお伝えしたように、市政担当者として内外で経験し感じたことを素直に書き込んできた

つもりです。思い返せば、よくも駄文をここまで綴ったものだと、恥ずかしい気持ちにもなります。一方、市民の皆様には良くぞお付き合いを頂いたと、感謝の気持ちもいっぱいです。

萩焼パリ展の感想や図書館の勧め、成人式の様子や子ども議会の紹介、みずゞさんのことや「くじら」のこと、その時々々の行事や行政施策について私の考え方を述べてきたつもりです。

各地の荒れた成人式が報道された折、わが町の和やかな成人式の雰囲気をお伝えしたところ、多くの市民の方から嬉しい反応を頂きました。この5年間、「みずゞさんの心」は全国に発信されましたが、その内外の反響もお報せしました。

いつも駆け込み原稿の繰り返しでしたが、この欄のおかげで常に物事に対し、テーマや本質を見出すという習慣が身に付いたような気がします。どれだけ皆様にお伝えできたかという不安もありますが、とりあえず「継続は力なり」と自分自身に言い聞かせています。市長としての責任と義務については反省することしきりですが、多忙の合間、市民の皆様に向かって私の想いを綴った「ながと日記」は、私の5年間の財産かもしれませぬ。

さて、3月22日、新しい「長門市」が誕生します。夢と希望もつてこの歴史の1ページを開いていきたいと思えます。そして私たち市民を50年間見守ってくれたこれまでの「長門市」に対し、心から慰労とお礼の気持ちを捧げたいと思えます。

